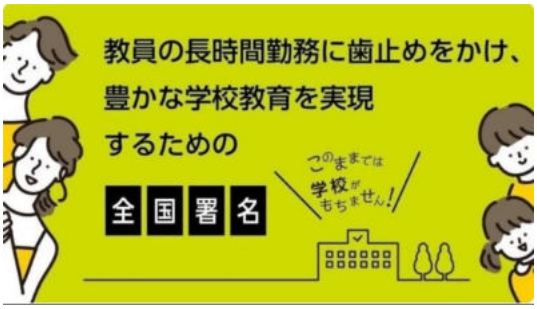
全教
豊中教職員組合
とよなか
2023年7/12
No.６４２
〒560-0054
豊中市桜の町3-12-10　3F
TEL（06）7161-4161
FAX（06）7161-2511
WEBページ　検索：【全教豊中】

教員　残業させ放題に歯止めを

教育研究者が署名をよびかけ　シンポを開催



教職員の長時間労働が大きな問題となっています。５月３０日に教育研究者がネット署名を呼びかけました。7月1日にはシンポジウムを開催し、残業させ放題にブレーキをかけ、必要な人員を配置することにつなげていこうと話し合いました。

署名の要望は三点！

○教員にも残業代を支給すること
○学校の業務量に見合った教職員を配置すること
○これらを実現すべく教育予算を増額すること

ネット署名の発信者である中嶋哲彦（愛知工業大学教授）は次のように書いています。

人にはゆとりがないと、いい仕事ができません。ゆとりなく働きすぎると、人はこわれてしまいます。じっさい学校では長時間労働がまん延し、病気による休職者は増える一方です。
若者も教職を敬遠するようになり、学級担任も確保できない「教員不足」がおきています。
このままでは学校がもちません。
こうなった原因は、教員をとりまくシステムにあります。教員に残業代を支給しない法律（給特法、1972年施行）の下で、教員の残業は増え続けました。
学校の業務量にみあった教職員が配置されているのか？という問題もあります。
子どもが学び育つためには、ゆとりをもって真剣に接してくれる教員が必要です。
教員の元気を取り戻し、子どもの豊かな成長を！
私たちは、教育研究の成果に基づいて、この解決には少なくとも次の３つの事項が不可欠だと考えます。

教員の長時間勤務に歯止めをかけ、豊かな学校教育の実現を求める教育研究者有志の方一部

内田　良（名古屋大学教授）
尾木直樹（法政大学名誉教授）
佐藤　学（東京大学名誉教授）
志水宏吉（大阪大学教授）
高橋　哲（大阪大学准教授）
中嶋哲彦（愛知工業大学教授）
広田照幸（日本大学教授）
前川喜平（現代教育行政研究会代表）

全教豊中も署名に取り組みます

ネット署名「チェンジ・ドット・オーグ」で集めています。上のQRコードからつながります。全教豊中教組は研究者によるこの取り組みに賛同します。紙の署名用紙も職場にお届けします。ご家族、知人、友人にも広げてください。

持ち方伝道師　まえちゃんねる

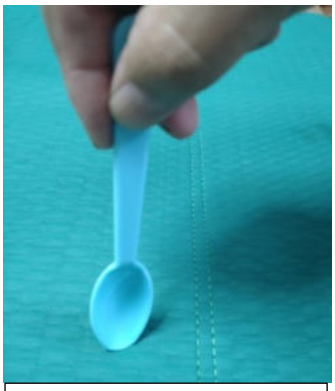
鉛筆の持ち方・使い方は学力の基礎
そして学習の構えをつくる

前田　昌彦（庄内西小）

はじめに

今年で教師４３年目。この間二千人あまりに鉛筆の正しい持ち方書き方を伝えてきました。そしてこの頃感じることは、年々その持ち方がひどくなっていることがとても気になるのです。それは学びの中の大切な要素である「書くこと」が大切にされなくなったのではないか。学びの逃避を起こしている子どもたちは書くことも遠ざかっていないか、板書は写せているか、便利なタブレットが使えれば、そう書かなくても子どもたちが理解できるのではと思われていないかと心配になるのです。

だから、正しく鉛筆を使って、楽に楽しく長く書いても疲れない持ち方を、知っていただきたいと思っています。



スプーンでかき混ぜる際の持ち方

正しいスプーンの持ち方

正しいお箸の持ち方1

どうしたら正しく鉛筆が使えるようになるか

子どもたちの鉛筆の持ち方が悪い理由は、多くの場合、教育と練習が不足しているためです。鉛筆を正しく持ち、書くことは、手の細かい運動を必要とする技能です。そのため、正しい持ち方を習得するためには、練習と指導が必要です。

そこで、いきなり鉛筆の持ち方を直すより、まずはスプーンとお箸の持ち方を正しくしていきます。理由はスプーンが正しく持てれば、お箸の上箸が正しく持てることになります。そして少し親指の持ち場所を変えれば、鉛筆の持ち方になるからです。

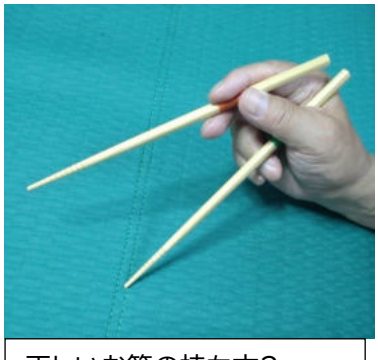
○まずはスプーンから

簡単に言いますと、親指の腹と人差し指の腹でスプーンを持ち、中指の爪の生え際で下から支えます。この下から支える中指の使い方が最も大切です。なぜなら、それをすることで正しいお箸の持ち方における上箸の使い方と同じだからです。さらに言えば、鉛筆の持ち方でも同じ使い方をするのです。

お箸では、あとは下箸の固定のために人差し指と親指の付け根に箸を持ってくる。そして、薬指と小指を折り曲げてくっつけ、薬指の爪の生え際で前の方のお箸をつけて、ほんの少しの力で薬指を、お箸側に押す。そうすると完全に下箸は動きません。

そうしておいて、上箸を人差し指と中指で上げ下げします。

（つづく）



正しいお箸の持ち方2

「持ち方伝道師まえちゃんねる」YouTube から発信しています。